

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2018. 2. 5(月)
No. 237

さいたま市職員退職金削減78万円

5年前の大幅削減に引き続き悪政

大幅な退職金削減という厳しい状況下、実施時期は来年度当初からとする一定の歯止めがかけられたものの、削減は私たちの生活設計に大きな影響を与えます。独自権限を持つようになった市として、現場に寄り添う施策の実施を強く求めた交渉でしたが…。

さいたま市教職員組合は、過日市当局が提示したさいたま市職員の退職金削減について、教職員

の窓口である市教委教職員人事課に対し、撤回を要求した交渉を持ちました。5年前の見直し時には、四百二十万円もの削減が行われ、私たちは「県費負担教職員」であつたため、大きな損失をこうむりました。しかし現在は

削減問題は、国の人事院が官民比較調査の結果「公

政令市の職員となったので、直接さいたま市の決定が反映されます。従って、削減をするかしないかについても県の意向とは関係なく、さいたま市独自の判断が可能です。

5年前の悪夢は繰り返されるのか

削減実施の基準日は平成30年4月1日からとなりました。これは、埼玉県が今年度の退職者をも対象とした2月1日基準

制度の是正、再任用者の待遇改善、長時間過密労働の解消など、重要な課題についても合わせて要求しました。退職金の基準日こそ最悪の設定を行った埼玉県の施策ですが、同時に回

多忙化解消に向けた再調査と「スクラップ」部分の各課への打診を約束

この市教組新聞でも指摘しましたが、市教委は組合側の指摘を受け、多忙化解消に向けた「教職員等の勤務に関する意識調査」での不十分な設問を認め、この目的を明記し、教職員の生の声も反映できるように自由記述の欄を設けた再調査を約束しました。(24校の抽

再任用者の早急な待遇改善を

再任用者の勤務校決定については、未だに退職時の学校にいられるかどうかは「校長先生のさじ加減」ではないか、との指摘も多くあります。市教委はその指摘について否定しましたが、「意向聴取は面談時に一応している。」「様式は十分」であると認め、検討していくことを約束しま

が再任用者、臨探者の確保につながり、現在の慢性的な代替者の不足の解決につながることも再度訴え交渉を終了しました。

国は「学校における働き方改革」の早急実施を求めている

中教審(中央教育審議会)の「学校における働き方改革特別部会」からは、「教職員の長時間勤務の実態は看過できない状況であり、教育の質の確保・向上の観点からも、『学校における働き方改革』を早急に進めていく必要がある。」と緊急提言が出されています。市教委も「学校における働き方改革の検討を進める」と答弁しています。

市教組は今回の交渉内容もこの観点の趣旨に沿った要求でもあり、これからも交渉を続けていく姿勢です。それは私たち教職員が自分の仕事に誇りを持ち、働きがいのある職場づくりとつながっていくからです。さらに、そのことが目の前の子どもたちのゆきとどいた教育活動に結びつき、保護者、地域の方の教育要求実現の土壌作りになっていくものと考えます。

秩父二景

秩父の三大水柱の一つ「尾ノ内溪谷水柱」は、厳しい寒さで水の柱が一段とみごとになった。一方、宝登山では「ロウバイ祭り(十二日まで)」が開かれ、山は甘い香りに包まれている。冬の秩父二景は多くの観光客の目を楽しませている。冬には冬の楽しみはあるものだ。



子どもたちは主権者として 尊重されているか

見直したい能力主義・点数主義

教育長の言葉に対する 個人的な意見



最近、職場が息苦しいと感じるのは私だけでしょうか。賃金にリンクされた新しい人事評価で競争を強要されているように感じます。私は、そういう競争からは降りてしまいたい。教育は、個人の競争ではなく共同(協同)で行うものではないかと思うからです。

もちろんすべての競争を否定するつもりはありません。例えば、合唱コンクールに取り組みの中で、各クラスが競い合いながら、より質の高い文化を獲得したり、学級の中にある問題を解決したり、みんながやると一人ではできない大きなことができるという素晴らしさを実感できたり、文化活動を始めるとかけとったり、いい競争もあります。(クラスの知恵くらべ・技くらべになつていて、競争と連帯は裏表になつている。)

しかし、おどしやファ

シズムでも一見優れた合唱ができてしまうという恐ろしさもあります。教職員の競争が悪い形として、子どもたちにしわ寄せがゆくのは良くないでしょう。

職員会議で学力テストの結果が市の平均より低いとか高いとか言われるたびに、テストの点数だけで、学校が評価されているみたいでとても嫌な気持ちになります。

私は、交渉で、テストの点数だけで人間の価値は決まらないと言いました。かつて、ジェームス三木は「翼をください」の中で、「テストで点数を取るよりも、トラブルを解決するちからの方がよっぽど価値があると思う」と言いました。そういう価値観もあつていいと思います。能力主義は私自身の中にもあつて「はっ」とすることがあります。私たちの周りに空気のようにあります。

書評

タテマエを嫌う人の道徳論

〔「新しい道徳」北野武〕



〔朝日新聞DIGITALより(ライター)〕

気をつけていないとそれが当たり前になってしまします。それは、新自由主義の政策が進められた中で、できないのは自己責任という自己責任論によって複雑化し、解決が困難になってきていると思います。

子どもたちは点数競争の中で孤立させられ、一人で悩んでいるのではないかと感じます。私たちに、孤立している子どもたちをどうつなぐかが問われていると思います。私は、特別支援学級を担

当していますが、自立を強要しているのではないかと感じることがあります。訓練も必要ですが、早く自立させなくてはいけないと思ひ、厳しく指導した結果、二次障害を引き起こしてしまつたということもあります。人事評価はそういう危険も持っていると思ひます。

世の中の役に立つか立たないかという見方ではなく、まず、「あなたはあなたのままでいいのだ」というところから出発す

べきで、できることが増えなくてもまた、今すぐできなくても焦らないことだと思ひます。SMA Pは、ナンバー1でなくていい、みんな違ったオリー1と歌い、金子みすずは、みんな違つてみんないいと言ひました。これらを当たり前にしたと思ひます。ただ、これらの事は、周りに空気がよつてとても困難になっているのが現実です。

さいたま市は子どもた

ちを主権者として尊重しているのでしょうか? 「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家および社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」をもう一度確認すべきではないでしょうか。

(文責 大澤 博)

「新春の楽しみパスル(236号)の解答

解答は、
「ことしも
よろしく」

当選者は、
山本 仁 さん
村上明彦 さん
浦本和隆 さん

の3名の方々でした。
ご応募ありがとうございました。

あの「北野武」氏が道徳とは、と思う人は多いかもしれない。しかし、内容は鋭く濃いものだ。

氏は、「人生がこれから始まるつていう子どもに、自分を見つめさせて、なんの意味があるのか」とそのうさん臭さをなげき、「いちばんうれしかったことを書きなさい」と強制することについても、年寄りへの席譲りを例に、「マナーにわざわざ小理屈をつけて、気持ちいいから譲りなさいなんていうのは、大人の欺瞞以外のなにものでもない」ととき下ろす。子どもに感じ方まで無理強いするのが道徳教育だとしたら、それは危ういことではないかとも指摘する。要は、なぜ人間に道徳が必要なのか、なぜ人は道徳を守らなければいけないのか、そ

れを子どもたちに考えさせるのが先なのに、そうさせていないのが今の道徳教育だといふわけだ。

また、それらを一番考えなくてはならないのは、本当は教える大人なのではないかともいふ。「人に何かを伝え理解させるのに必要なのは、巧妙な話術でも、甘いお菓子の指摘は鋭い。伝える本人が本当に理解できていないことなど誰にも伝わらないのであり、伝える人の「本気さ」こそが人の心に届くものなのだ。これは大人にとつて耳が痛い。

「道徳」「道徳」などと声高に言われる時はあまりいい世の中ではない。事実、胸の痛くなるような事件が頻発している。このままではいけないと思ひ大人は「人の道」を説いてみたくなるのだから、子どもにそれを説く前に、「人の道」の押し付けが果たしてその子らのためになつていくかを問ひ直す必要がある。自らを振り返りつつ子どもたちにもつと考える場をつくつてやるべきではと思ひ至ることが必要なのだ。現場はますます大変になつてきている。

「道徳」が教科として位置づけられるようになる。教科なので評価もせねばならない。タテマエに振り回される教師のストレス相おつとこれは文科省のお偉いさんというべきことであつた。

ところで、著者の北野氏という人は、少なくとも自分がそう思つてもいいことを話したり、したりはしない人で、タテマエを嫌う人なのであろう。それが時として過激に映つたり、ひねくれた意見に思えるだろうが、後になつて腑に落ちることが多い。そんな意味で、僭越ながら氏を改めて見直しているところだ。ご一読を。(S・T)

